

市長の行政報告

(平成26年第2回市議会定例会)

先の定例会以降、今定例会に至る間の主要な行政事項について、私より6件の報告を行い、他は資料提出をもって代えさせていただきます。

1. 「日野市地域防災計画」の見直し完了

東日本大震災の教訓や首都直下地震等による被害想定を踏まえた、「地域防災計画」を策定しました。この計画は、市の災害予防・減災に関する総合的かつ基本的な計画として位置付けています。

今後は、この計画に基づき、具体的な個別マニュアルや防災設備などを整備していくとともに、図上訓練を始めとしたさまざまな訓練を実施し、市の防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

2. 日野市福祉事業団が「おおぞら」として再スタート

平成26年4月から、日野市福祉事業団が新たに社会福祉法人「おおぞら」として自立、再スタートしました。

従来から実施している障害福祉サービスは、一部の事業を除き引き続き実施していきます。

市としましては、今後も法人との十分なコミュニケーションをとりながら事業活動の支援を図ってまいります。

また、公民協働の担い手として、市内の障害者通所施設の中心的な役割を担っていただくことを期待しています。

3. 日野市発達・教育支援センター「エール」の開設

平成26年4月1日に日野市発達・教育支援センター「エール」を開設しました。センターでは、0～18歳の発達面・行動面・学校生活面において支援を必要とする子どもや、子どもの育ちについて不安のある保護者に対し、①福祉と教育を一体とした総合相談・支援 ②心理士による発達相談・教育相談 ③言

語聴覚士・作業療法士による専門指導 ④「希望の家」から引き継いだ通園事業をおこなっています。

相談窓口をわかりやすくしたことで、開設からの2か月で115件の新規相談がありました。

4. 待機児童解消に向けた施策

今年度の待機児童解消の対応策として「むこうじま保育園」が開設され、定員を30名拡大いたしました。

さらに、つくしんぼ保育園の建て替えと公立保育園の定員見直しにより18名を拡大し、合わせて48名の定員拡大を図りました。

現在策定中の「(仮称)新ひのっ子すくすくプラン」の中で、保育の総合的な提供や待機児童の解消策を位置付けると共に、今後も幼児人口の推移、保育ニーズの動向を踏まえ、待機児童の解消に努めてまいります。

5. 「自転車等駐車環境整備実施戦略」を策定

市営駐輪場の今後のあり方を位置付けた、「将来を見据えた自転車等駐車環境整備実施戦略」を策定いたしました。

実施戦略では、パブリックコメントで頂いたご意見を踏まえ、市営駐輪場の有料化・撤去手数料の増額・放置禁止区域の拡大の実施について位置づけております。

今後は、平成27年4月からの実施に向け、指定管理者の公募等を行い、将来的に持続可能な駐輪場運営や利用しやすい環境の整備を進めてまいります。

6. 教育関連の構想並びに推進計画を策定

今年度から5年間の基本方針をかかげた「第2次学校教育基本構想」を策定しました。

基本構想でかかげた、「地域と共につくる基本と先進の教育」の基、教育のまち日野を目指して「21世紀を切りひらく力」、「次代をつくる特色ある学校づくり」、「つながりによる教育」の3つの方針をかかげて、取り組みを推進してまいります。

また、平成 26 年度から 3 年間を計画期間とする、「第 3 次日野市特別支援教育推進計画」を策定し、「教員の指導力向上に向けた取り組みの推進」、「ニーズに応じた特別支援学級の増設」、「中学校リソースルームの拡充の検討」などを最重点施策に掲げ、積極的に取り組んでまいります。